

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	水銀含有物等処理委託事業	所管	環境クリーン部 廃棄物対策課
			TEL 2998-9146

事業の目的 (何の為に 行うか)	使用済み乾電池・蛍光管等の水銀含有廃棄物について、適正処理の推進を図る。
------------------------	--------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市で分別収集等した廃棄物のうち、適正処理が困難な廃乾電池等の水銀含有廃棄物。	対象とした数	92	t
		実際に 利用した数	92	t

活動の内容	(何を したか)	廃乾電池等の水銀含有廃棄物は、当市の一般廃棄物処理施設では適正に処理することができない。そのため、廃乾電池の処理を平成18・19年度は民間の廃乾電池処理業者に委託し、また、廃蛍光管の処理を平成18年度は埼玉県清掃行政研究協議会が行う事業により委託、平成19年度は民間の廃蛍光管処理業者に委託した。							
		活動実績	項目名	水銀含有廃棄物の 収集量	92.36	項目名		単位	t

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	7,487	7,485	8,706	25.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	水銀含有廃棄物の引渡率	水銀含有廃棄物として引渡しをした量/ 有害ごみとして収集した量	100	100	100.0
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050400	TEL	2998-9146		
事業コード	水銀含有物等処理委託事業							
050412								
開始年度		昭和	59	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所 示市廃棄物の減量及び適正処理に関する 条例			
	関連・類似事業	一般廃棄物運搬・処分業務委託事業(廃棄物対策課)						
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・う るおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル	中 柱	2 適正処理の拡充	小 柱

③事業の内容	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○   H20 ○	
	コード		コード		コード	
	事業開始の背景 使用済み乾電池・蛍光灯等の水銀含有廃棄物の安全かつ無害な処理・処分を行う必要から、埼玉県清掃行政研究協議会において 廃乾電池等処理共同企業体による一連の処理システムが事業として昭和59年度より開始された。そこで本市においてもこの事業に 昭和59年度から参加した。(廃乾電池は平成16年度から、また廃蛍光灯は平成19年度から、それぞれ民間の処理業者に処理業務 を委託している。)					

④前年評価と改善点	目的(何のために行うか、具体的に)					
	使用済み乾電池・蛍光灯等の水銀含有廃棄物について、適正処理の推進を図る。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方		
	市で分別収集等した廃棄物のうち、適正処理が困難な廃乾電池等の水銀含有廃棄物。			市で分別収集した後、処理された水銀含有廃棄物		

⑤経費	対象数	単位	平成 18 年度	66	t	平成 19 年度	92	t
	単位		平成 18 年度	66	t	平成 19 年度	92	t
事業の具体的な内容及び実施方法 廃乾電池等の水銀含有廃棄物は、当市の一般廃棄物処理施設では適正に処理することができない。そのため、廃乾電池の処理を平成18・19年度は民間の 廃乾電池処理業者に委託し、また、廃蛍光灯の処理を平成18年度は埼玉県清掃行政研究協議会が行う事業により委託、平成19年度は民間の廃蛍光 管処理業者に委託した。								

⑥指	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				

⑦事業の概要	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		6,526	7,487	7,497
	決算 (見込み含む)		6,361	7,485	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
	正規職員人件費		0.14 人 1,288	0.13 人 1,221	
	公債費				
	事業費合計		7,649	8,706	
	財源内訳	一般財源	7,649	8,706	7,497
		国・県支出金			
		受益者負担金			

市民一人当たり(単位:円)	22.6	25.7
利用者一単位あたり(単位:円)	115,893.9	94,632.8

⑧一次評価を受けて	項目名	水銀含有廃棄物の収集量	有害ごみとして収集した量	単位	t	H 18	66.13	H 19	92.36	H20見込み	80	将来目標
	活動実績											
	成果分析	水銀含有廃棄物の引渡 量率	水銀含有廃棄物として引渡しをした 量/有害ごみとして収集した量	%	目標値	100	100	100	実績	100	100	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑨個別計画における方向性	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	委託業者	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要ななし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	水銀含有物は、環境へ及ぼす影響が大きいことから、分別排出の徹底を図り、安全かつ適正な水銀含有物の処理を行う必要がある。					

⑩二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	処理費用等を勘案し、新たな処理先を検討する。	適正処理を安定的に行う処理業者を複数社入札に参加させ、処理費用の節減を図る。	平成20年度末
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		

⑪一次評価	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	今後環境保全のため、引き続き水銀含有物の適正処分を行っていく必要がある。さらに、分別排出の徹底を図るため啓発・PRを行っていく。また、処理費用の節減にも努めていく。				

⑫二次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	部内優先順位… 位 非常に高い 高い やや低い 低い 優先度評価 A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業					

⑬個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	323
	実施の体系	3-2資源循環の促進	施策の方向	3-2-3廃棄物の適正処理
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	